

カオラック

タイの定番！シミランクルーズ

子どもにJrオープンウォーターを取らせて、
親子でダイビングを
楽しんでおう！の巻

Photo & Text= Takaji Ochi
Model= Kaito Ochi, Umi Kikuchi and family
Special Thanks= edive
Khaolak Seaview Resort & Spa
Khaolak Laguna Resort
Mukudara Beach Villa & Spa Resort
Design= Yoshiko Murata



学生時代や独身時代にダイビングを始め、結婚をして、お父さん、お母さんになったダイバーの中には、
家族ができて、しばらくダイビングから遠のいてしまったけど、「また家族一緒にダイビングを楽しみたい」と思っている人もいるかもしれない。
あるいは、今でもダイビングを続けていて、「いつかは息子、娘と一緒にダイビングしたい」というのが人生の夢の一つになっている人もいるかもしれない。
そんな夢をかなえる機会を提案しようじゃないかっていうのが、今回の取材のテーマ。
一緒にタイのシミランクルーズを満喫しながら、小学生の息子、娘にジュニアオープンウォーターを取らせて、親子でダイビングを楽しんでおう！の巻。

子どもにJrオープンウォーターを取らせて、
親子でダイビングを
楽しんでよう!の巻



カオラックで、Jr オープンウォーター講習+クルーズ決定

タイのカオラックにあるediveは、オーナーガイドたちも子どもを持つ世代に。いつか自分の子どもたちもダイバーにという思いもあるだろうけど、今回取材テーマを考えてる段階で「家族でクルーズに乗って、海友（自分の長男）にジュニアオープンウォーター（以下JrOW）取らせれば？」とediveの平川恭（以下恭ちゃん）ちゃんから言われて、「え、それいいね、行く行く!」と即答したものの、クルーズ船を一家族

でチャーターする訳にもいかないので、一緒に乗船できるメンバーを探さなければいけないなどの課題が持ち上がった。

しかし、タイミング良く、一緒に乗船できるファミリーも見つかった。以前タイのタオ島でインストラクターをしていた頃に良く取材でお世話になった、菊池暁君ファミリー。長女の花ちゃんが、海友と同じ年の小学4年生。暁君の長男の遥君が小学校2年、二男の空君が3歳、僕の

二男の颯友が小学校1年生。

そんなメンバーに、今回は恭ちゃんこの長女の小桃ちゃん、二男の暖君と奥さんの和江ちゃんがあり、子どもの人数は7名、3家族13名とスタッフという構成。さてさて、どんなクルーズになったのでしょうか。

まずは、ediveのショップ内で学科講習。最近ではこの学科講習を日本で済ませて来るシステムを利用する人が多い

- 01 子どもたちにとって、最高の夏休みが始まる
- 02 今回クルーズに乗船した子どもたち、計7名
- 03 一緒にクルーズを楽しむことになった、菊池ファミリー
- 04 カオラックのおみやげ屋さんでお買い物
- 05 そして、こちらも一緒にクルーズを楽しんだ平川ファミリーと



けど、今回は一緒に受ける仲間がいるので、現地でediveのPADIインストラクター、えびちゃん先生に教えてもらうことに。

今回取得するのは、PADIのジュニアオープンウォーター（以下JrOW）コース。JrOWは、10歳以上15歳未満の子ども向けのコース。とは言っても、受講するカリキュラムにオープンウォーター（以下OW）との違いは無い。ただ、10歳以上12歳未満の子は水深12mまで、12歳以上15歳

未満の子は、ジュニアアドヴァンسدオープンウォーター（以下JrAOW）コース中のディープダイブでも、水深21mまでとなっている。また、10歳以上12歳未満の子はプロレベルのダイバー、あるいは保護者と潜ること。12歳以上15歳未満は、Cカードを持つ大人のダイバーと潜ることという規定があり、15歳に達すれば、そのまま通常のOWダイバーとして扱われる。

カオラック タイの定番! シミランクルーズ



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
http://ocean.ne.jp

関連情報HPへ

まずはシミラン諸島デイトリップでスノーケリング

シミラン諸島には、デイトリップの船でスノーケリングを楽しむツアーがある。スピードボートに乗って行くか、あるいは、ダイビングの大型のボートに乗ってのんびり船旅を楽しみながら行くか。

スピードボートだと、満席だとちょっと動くの大変だけど、1時間くらいで着いてしまうので、無人島に上陸して遊ぶこともできる。

大型のデイトリップボートの場合は、約3時間。こちらは、ダイビングの合間にスノーケリングするので、現地ではちょっと時間が短いかもしれないけど、天気良ければ、海風を感じながらの船旅も悪くない。

今回は、講習の前に、大型のダイビングデイトリップボートに乗船。シミラン諸島の美しい海で、まずは、スノーケリングで遊んで、海に慣れておこうという作戦。とは言っても、すでに、海で遊ぶのは大好きな二人。特に心配することもなく、足の着かない場所でも多いにはしゃぎ回っていた。

スノーケルトリップのさらに詳しいレポートは、以下をご覧ください

タイのカオラック、家族で過ごす春休み
～シミラン諸島へスノーケルトリップ その1～
http://oceana.ne.jp/from_ocean/36352

タイのカオラック、家族で過ごす春休み
～シミラン諸島へスノーケルトリップ その2～
http://oceana.ne.jp/from_ocean/36371

子どもにJrオープンウォーターを取らせて、
親子でダイビングを
楽しんでやろう! の巻

カオラック タイの定番! シミランクルーズ



©oceana + ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://oceana.ne.jp>

関連情報HPへ



01 シミラン諸島までの移動中、船首でのんびりと海を眺める二人
02 タイバーたちが、クリスタルブルーの海へとエントリーしていく
03 シミラン諸島のビーチに上陸して大喜び
04 早速母親と素潜りの練習をする長男
05 クルーズ船上での食事は、buffエスタイル



01



02



03



01 器材を持って、
 プール講習へと向かう
 02 まずは、器材の
 セティングを教わる
 03 プール実習はあっ
 と間にクリア！
 04 弟たちは、二人の
 講習風景が気になる
 様子

さてさて、10歳になったばかりの二人。プール実習は大丈夫だろうか…

子どもたちって、一緒に試験を受ける仲間があると、お互い切磋琢磨して、頑張れるみたいだ。特に同い年の子となると、お互い、協力したり、「負けたく無い!」と良い意味で張り合ったりしてるところが見てもわかるので、可愛いというか、面白いというか。親としては、とにかく自分の子どもたちが頑張る姿を見ているだけでも、幸せな気分になれる。ましてや、これから自分

たちと一緒にダイビングを楽しむための努力をしているわけだから、尚更だ。それに、相手が可愛い女の子だから、ちょっとした恋心とか芽生えないかな、な～んて期待しちゃったりもして(笑)。

いかん、いかん、なるべく客観的に書こうと思うんだけど、やはりつい自分の息子なので、主観的希望とか入ってしまいそうになる。注意しないと。

さて、学科講習を受けながら、平行して、プール実習。ediveのお隣にある、欧米人ダイブショップのプールにて。機材のセッティングの仕方からスタートして、機材を背負ってプールで、レギュからの呼吸の仕方や、耳抜き、マスククリア、レギュレーターリカバリー、潜行、浮上、中性浮力の取り方などを一通り教えてもらう。

どちらかと言うと、女の子と話すのが苦

手でおっとりした海友を、活発で、リーダータイプの子がリードする感じ?で実習は進んで行く。プールの周りは、2家族の親たちが写真を撮ったり(まあ、自分は仕事だけど)、弟たちが、ちょっかい出したりと、賑やかに進行。

二人とも、相当水慣れているのか、海ちゃんが耳抜きに少し手間取った以外は、大人顔負けなくらいに順調な滑り出し。水

中でも、不安な顔をすどころか、笑顔まで出るくらい楽しんでた。

これなら、すぐにクルーズでの海洋実習もこなしそうだ。



カオラック タイの定番! シミランクルーズ

そして、3泊4日のシミランクルーズに乗船して、いよいよJr0Wの海洋実習の始まり、始まり。

夕暮れ時、タプラム湾に接岸したクルーズ船、オレンジブルー号に乗船して、夜の間にシミラン諸島へと移動。朝には、ブルートパーズ色の美しい海が広がる島の前。子どもたちのテンションはさらに上がる。まあ、彼らにとっては、新しくできた友だちとの、船上お泊まり体験みたいなものだ。ワクワクしないわけがない。

上の二人は学科講習、海洋実習があるけど、その他の子どもたちは、特に何をしなければいけないという事も無いので、船内を好き勝手に動き回る。特に小2の遥君と小1の颯友は初対面にも関わらず、あっという間に意気投合。釣りしたり、バンクに鍵かけて、秘密基地さながらに立てこもったり、一緒にビデオを観たり、海で遊んだり、ビーチに上陸して暴れ回ったり。乗船中、何をすることも、ほとんどセットで行動していた。

そんな弟たちを尻目に、上の二人は、学科講習。助け合いながら、一生懸命問題を解いていく二人の姿に、「感動して涙がでてきちゃった」とは、涙もろい、恭ちゃんの奥さんの和江ちゃん。

自分の娘、息子たちの将来の姿とオーバーラップさせていたのかもしれない。

シミランクルーズに乗船して、いよいよ海洋実習へ

01 ランチタイム中は、皆でアニメのDVDを観る。大人の方が楽しんでる？
02 船の部屋は子どもたちの秘密基地に。3連日、2泊3日の学科講習は続いた。
03 今回のファミリークルーズで使用した、01号のオレンジブルー号。いつもクルーが奇麗に掃除していて、清潔感があつて、快適。
04 大人がダイビング中、子どもたちは、スノーケルでおおしゃやき



子どもにJrオープンウォーターを取らせて、親子でダイビングを楽しんでみよう！の巻



カオラック タイの定番！シミランクルーズ



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
http://ocean.ne.jp

関連情報HPへ



海洋実習は、幼い恋心が芽生えちゃいそうな、 透明度抜群のシミラン諸島の海

小さな手をしっかりと握り合せて、海中を進む。そんな二人を覗いていると、色んな意味で「こちらがトキヤキ」の

子どもにJrオープンウォーターを取らせて、
親子でダイビングを
楽しんでやおう! の巻

二人ともまったく水を怖がらずに、順調にカリキュラムをこなして行くので、時には遊びも織り交ぜて、フィンを脱いで白砂のさらさらした感触を楽しんだり、BCの脱着まで平気でしちゃって、そのまま泳ぎ続けたり。

その間に、親たちは、ファンダイビングを楽しむ。本来なら、自分もそちらのファンダイビング組なのだけど、取材だから一番彼らの側にいて、頑張っているところを間近で観察していた。

最初は、インストラクターのエビちゃん先生に、それぞれ手を握ってもらっていたのだけど、しばらくすると、エビちゃん先生が手を離し、海ちゃんと海友が手をつないで一緒に泳ぎ始めた。

「お〜〜!」と心の歓声を挙げる僕。何故って、海友、「好きな子できた?」って何度聞いても「いな〜い、女の子、好きく無〜い」って、女子を完全否定してたから。

お互いはぐれないようにとか、急浮上しないようにしてるのもあるとは思うけど、自分にとっては、「これって、まさか恋の始まりなのか!? そうなのか!?!」と勝手にワクワクしちゃって、手をつないでるところを背後から激写しまくり。

二人で何かを必死に指差してるから、何がいるのかなと覗き込んでみた。どうやら、サンゴが「変な顔」に見えたとかで、二人とも面白かったらしい。こういう所に目がいくのも、もちろん、子どもならではの発想でもあると思うけど、普段見慣れない「素敵な海中」において、感受性が刺激されているからなんだろうな。でも、二人で共通の物を同じように感じてるなんて、なかなかいいんじゃないの〜とさらに期待が高まる。

カオラック タイの定番! シミランクルーズ

しかし、「海友、ちゃんとリードしろよ～」と訳のわからない期待に胸膨らませていたのは、父だけだったようで。しばらくして慣れて来た二人、あっという間に好き勝手に潜りたくなってしまい、それからは、一度も手をつなごうとしない。幼い二人の淡い恋の進展はまったくなさそうで、「ちえっ、つままないな～」なんて一人思いながらも、二人の急激なスキルの進歩ぶりには感心。

そんなとき、ファンダイビングを終えた、暁君と奥さんのカイちゃん、海友の母親のミナが戻ってきた。僕とエビちゃん先生が「帰ってきたよ～」と指差すのだけど、最初は分からない感じで、ぼか～ん。しかし、ママやパパたちが手を振るとやっと気づいて、ダッシュで駆け寄って抱きついてきた。「あ～、親子愛・・・いいな～」と感動しつつも、「んん？オレも父親なんだけど」とそのハグの輪の中に入れない事に少し寂しさを感じながらも撮影を続ける、一人蚊帳の外カメラマンの父なのでした。

海洋実習は楽しみながら、そして、学科講習は悪戦苦闘しながらも、力を合わせながら、JrOW資格取得！そして記念撮影。お疲れさまでした～、海洋実習担当のえびちゃん先生、そして、学科講習の苦手なえびちゃん先生に代って、途中から学科を引き受けてくれた、らんちゃん先生、本当にどうもありがとうございました。

その翌日には、家族そろって、ファンダイビングを満喫。まずは、エントリーするなり、当然の事ながら、家族での記念写真。自分も海友と一緒に自分撮りしたり、ガイドの恭ちゃんにカメラ渡して撮影してもらったり。本当は家族4人で撮影してもらいたかったけど、あと数年後、二男の颯友が10歳になったら、今度は4人で水中で記念写真撮影したいね。

菊池ファミリーも、親子そろって、記念撮影。

「どうだった？大変だった？」と訪ねると、「学科は難しかったけど、でも、一緒に問題解いたりできたから。海洋実習は面白かったよ！」と二人。残念ながら、恋心は芽生えてなさそうだけど、同じ事を一緒に成し遂げたという友情は生まれたんじゃないのかな。

見ている、カリキュラムをこなしていく度に、「何かを成し遂げて行く」自信が顔にみなぎって来るのが分かって、精神的にも、少しずつ成長していく子供の姿を見られるのは、親としてもとても嬉しかったし、誇らしかった。

学校の授業もこんな風に頑張ってくれば嬉しいだけだな。

最後に、今回乗船したメンバーで記念撮影。親たちにとっても、もちろん子どもたちにとっても、心に残る、シミランクルーズとなりました。



01 徐々に、深い深度へとチャレンジする二人
 02 こんな奇麗な水中景観が観れるかな？
 03 一人での潜行にも慣れてきた
 04 初ファンダイブで早速イエローバックフジツライの群れに囲まれる
 05 初ファンダイブで家族での水中記念自分撮り
 06 フインを脱いで砂の柔らかさを楽しむ余裕も
 07 皆でダイビングを楽しんで戻ってきました

子どもにJrオープンウォーターを取らせて、親子でダイビングを楽しんでおおう！の巻

カオラック タイの定番！シミランクルーズ



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Information Link <http://ocean.ne.jp>

関連情報HPへ

カオソック国立公園は、カオラックから内陸部に車で約1時間程のところにある、ラチャバパダムによってできた、人工湖のチェオラン湖を覆う景勝地。中国の景林に似た景観の山並みが美しく、トレッキングのメッカにもなっている。国立公園としては東南アジアで2番目の規模。10月~1月の乾期には、ラフレシアという世界一巨大な花が咲く事でも知られている。それに、トラも棲息しているとか・・・(笑)。

湖に着くと車から降りて、荷物を持って、棧橋へ。船は、タイの伝統的なロングテールというスタイル。不安定なのがちょっと怖いけど、この風景にとってもマッチしている。

ここで僕たちが2泊3日で滞在した水上コテージはまだ新しく清潔だった。湖水に扇状にコテージが並び、一番端の大きな棟は、レセプションとレストランになっている。

この水上コテージは、巨大なポンツーンの上にコテージを設置している。

子どもたちと一緒に遊べるのは、カヤックやコテージ前での水遊び。鍾乳洞ツアーとかもあるけど、炎天下の中で小さな子どもたちを連れていくよりは、水遊びしていた方が楽しそうだった。

山景の湖、カオソック

子どもにJrオープンウォーターを取らせて、
親子でダイビングを
楽しんでおう! の巻

- 01 ロングテールに乗って、リゾートを目指す
- 02 中国の景林に似た風景の前で記念撮影
- 03 水上コテージには、全ての部屋にカヤックが常備
- 04 日中は暑いので、周辺へのボートでのツアーは早朝スタート
- 05 こんな不思議な景色の中を進んで行く



01



02



03



04



05

山々が連なる、カオソックの美しくも不思議な景観

カオラック タイの定番! シミランクルーズ



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://ocean.ne.jp>

関連情報HPへ



01 慣れてくると、笑顔が出て来た。
02 トレッキング後には、象たちに餌をあげることもできる。
03 筏での川下りスタート。
04 こんなので大丈夫？と思ってしまうくらい作り。

金魚山遊を登る。最
初は、少し緊張気

車で15分ほどプーケット方面に移動した場所では、本格的なエレファントライドが楽しめる。象使いの指示の下、山道をのっし、のっしと歩き回ること、約40分。急な坂道では、象が転げ落ちてしまわないかとハラハラするような場面も。

これだけ充実したエレファントライドができるところはなかなか無いそうだ。まあ、「長過ぎる」と思う人もいるかもしれないけど。

そして、そこから、さらに車で10分ほど走ったところには、竹を何本もくくりつけただけの、まさに筏でのリバーライド（川下り）が楽しめる。こちらも行程は約40分ほど。川幅の狭い中、細長い筏を一本の竹を使って器用に障害物を避けながら下って行く。

でも、子どもたちのように小さければいいのだけど、欧米人のように大きくて、しかもぼっちゃり系の人が何人か乗ってしまうと、思いっきり浸水してたり、川底の浅いエリアで、動かなくなってしまうたりと言うハプニングが続出で、それを見ているのも面白い。乗ってる方は恥ずかしそうにしてるけどね。

本格的なエレファントライドに、竹の筏での川下り



子どもにJrオープンウォーターを取らせて、親子でダイビングを
楽しんでやおう！の巻

カオラック タイの定番！シミランクルーズ



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
http://ocean.ne.jp

関連情報HPへ



01



家族で泊まったカオラックのリゾート

02

今回宿泊したリゾートは、3カ所。ムクダラビーチリゾート&スパ、カオラックラグーナリゾート、そしてカオラックシービューリゾート&スパ。

子どもたちに一番人気だったのは、大きなプールとウォーターライダーのあるシービューリゾート。リゾートステイの時は、ほとんど1日中、プールにつきりっぱなし。

ムクダラはどちらかと言うと、カップルや大人向けのリゾートといった感じ。ラグーナには、今現在、日本人ゲストレーションズの女性がいるので、英語が苦手な人でも安心。子どもたちにも優しくしてくれました。

リゾートに関してのもっと詳しい滞在レポートは、それぞれのリゾート紹介を書いたヘッドラインをご覧ください。

Khaolak Seaview Resort & Spa
http://oceana.ne.jp/from_ocean/khaolak-seaview-resort-spa

Khaolak Laguna Resort
http://oceana.ne.jp/from_ocean/khaolak-laguna-resort

Mukudara Beach Villa & Spa Resort
http://oceana.ne.jp/from_ocean/36425



03



04



05



06



07



08

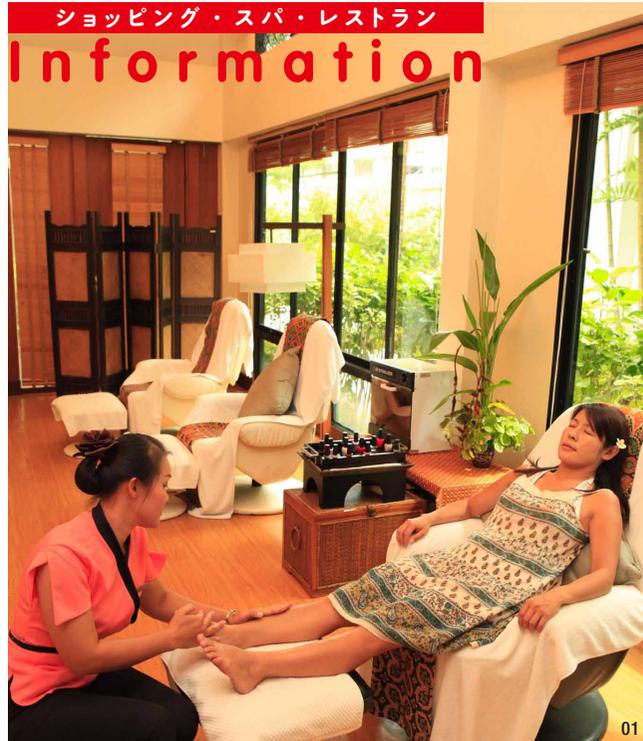


09

子どもにJRオープンウォーターを取らせて、親子でダイビングを楽しむじゃおう!の巻

- 01 ムクダラのナイトランスロビーからの眺め
- 02 ムクダラのビーチ
- 03 シービューには、広いプールがあって、子どもに人気
- 04 プールサイドでマッサージも受けられる
- 05 シービューのウォーターライダー
- 06 ラグーナのヴィラ
- 07 ムクダラの客室
- 08 ムクダラのプールでボール遊び
- 09 ラグーナのビーチ

カオラック タイの定番! シミランクルーズ



- 01 ラ・フローラ内でリラックスするママ
- 02 Think Ofというおみやげ屋さんには、センスも良くておすすめ
- 03 Cafe Kantaruは、カオラックでも人気のカフェ&ケーキ屋さん
- 04 室内も白で統一されていて、おしゃれなおみやげ
- 05 Think Ofにある象のおみやげ
- 06 同じく、ブルメリアをあしらったロウソク立て
- 07 ラ・フローラのマッサージ用具
- 08 ラ・フローラのスパ内部
- 09 Think Ofのおみやげ
- 10 Think OfのThink Of
- 11 イタリアレストラン「Enzo」のピザ
- 12 イタリアのマルシアは、シービューから徒歩1分
- 13 町中には、マクドナルドも
- 14 高級タイ料理のプーカオラック

子どものいない間に、ショッピング&スパ

いつも子どもの面倒を全力で見てるお母さん。たまには、子どもたちを父親に託して、のんびりショッピングやスパを満喫したい。

沢山は紹介できないけど、ediveのおすすめを数カ所程。お洒落なおみやげ屋さんのThink Of。販売しているおみやげの

センスも良く、女性へのおみやげを購入するのにもってこい。クーラーが効いてるのもポイント高い。

スパは、ラ・フローラがおすすめ。

疲れた身体をいたわって。いつも頑張ってお母さん、ありがとう〜。

レストラン

おすすめのレストランは、イタリアン、高級タイ料理のプーカオラック、日本人が経営している和食のENZO、そして、マック!



ファミリークルーズ開催予定日程

2013年12月25日~28日
2014年4月1日~4日

ダイビングサービス

edive

今回のファミリークルーズ&Jrオープンウォーター取材でお世話になった、edive。カオラックにある日本人ダイビングサービスとしては、今や老舗と言ってもいい。魚に詳しいオーナーガイドたち。マクロの魚たちを写真を使って色々ブリーフィングしてくれる。



カオラック タイの定番! シミランクルーズ